

# スニエニヨ

シネスコ版

高新 No 411  
新巻 No 239

No. 576

40.1.29

## 一、サバ漁にわく

— 銚子 —

いま、銚子沖はサバ漁の真最中、久しぶりの豊漁に六百数十隻の漁船が狭い漁場にひしめきあっています。その基地銚子港には遠く九州や北海道からもサバの群をもとめて入港、その数ざっと三百隻、さしもの港もあふれんばかりの混雑をみせています。そしてサバ船団の乗組員は六千人ともいわれ、銚子は陸も町も大変なサバ景気にわいています。

## 一、ハはなやかなホームイン

— 長島選手の結婚式 —

「五輪の恋」と話題をまいた、巨人・長島茂雄選手と西村亜希子さんの結婚式が一月二十六日東京・渋谷南平台のカトリック教会で両家・親族・友人ら百五十人が列席しておごそかに行なわれました。

式のあと、赤坂のホテル・ニューオータニ芙蓉の間で披露宴が行なわれ、政・財界・芸能・スポーツ界およそ三百五十人が出席。球場での「心臓男」長島選手も、この日だけは緊張し、コチコチの有様。

こうして永遠の愛を誓ったカップルはみんなの祝福をうけながら、第二の人生をスタートしました。

カメラ・スケッチ

## 一、奈良の「墨づくり」

古い都、奈良——。社寺仏閣とともに、墨づくりの町として知られています。昨今の書道ブームにのって墨の需要は増える一方。ここ奈良の町には遠く奈良朝時代の和墨をつくりつづけるしにせが店をならべています。

この奈良墨の製法には、精神修養が第一。また、明けきらぬうちから格子づくりの工場へと出勤。彼等の一日がはじまります。墨の原料はスス、膠、香料とショウ腦。墨づくりの工程は、まず大きな釜で膠をとかす作業。

一方、ススは植物油をともし作り、土器ザラにうけるのです。そして、スス、膠、香料、とをかきまぜての墨もちづくり。この作業では、すべてが真墨。だが、このね方が墨づくりの生命とあって一番大切なところなのです。この墨もちは各型に入れられて原型の出来上り。さらに八日間の乾燥で水分がぬかれ、これを干し柿のようにワラで一つ一つあみ、空気乾燥させると和墨が出来上るのです。

だが、文字通り、真黒になってその墨づくり、一人前になるまでに十年もかかり、このためいまでは後をつぐ人がなく、五十才をすぎた老人ばかりで、この奈良の墨づくりの伝統が細々と守られている有様です。

624F

321F

110F

193F

制作・配給

中日新聞  
北陸中日新聞

東京中日新聞  
中日映画社